

令和六年度 奈良県知事賞

安定した生活の基盤

十津川高等学校2年 西岡 春菜

「税金」という言葉を聞いて良いイメージを持つ人はそう多くはないでしょう。「税金が無いと日本はどうなるのか」を説明した動画を中学生や高校生に見せるくらい、税金がどのように使われているのか日常で知る機会がありません。私達は、税金の恩恵を受けながら生活をしているのを知らないのです。

消費税や住民税、所得税など私達のまわりにはたくさんの税があります。では、集められた税金は何に使われているのか疑問に思いました。調べてみると、「社会保障」に一番多く使われていることがわかりました。医療、年金、介護、福祉などの公的サービスのことを社会保障といいます。どれもこの国で生きていく為に必要な保障です。病院で手当てをしてもらったときに、国が三割負担してくれるのは病院に行きやすくなって国民の健康につながると思いました。また、入院時にも三割が負担されます。私が数日入院した時も社会保険で負担が減らされていたことを知り、ありがたさを感じました。

また税金は私達の暮らしをより便利に、安全にする為にも使われています。たとえば、日本が世界に誇る綺麗な水も税金が関わっています。世界の中でも水道をそのまま飲める国は少ししかありません。あたりまえに、水質の高い水を飲むことは珍しいことで感謝しないといけません。毎日手を洗えること、トイレを流せること、風呂に入ることができるなどは税金のおかげで成り立っています。

私は今まで、税金が無ければもっとお金を自分の好きなことに使えるのではないかと考えたことが何回かありました。しかしそれは浅はかな考えで、私が趣味や好きなものにお金を使おうと思えたのは税金からつくられた暮らすのに不自由しない生活があってこそでした。私達から集められた税金は、豊かな人生を送るのに必要な「安定した生活の基盤」をつくっていたのです。

私はまだ高校生で、所得税や住民税を払っていませんが、いつか関わることになるでしょう。税金を納める義務を果たし、人生で困難なことがある度に、税金のありがたさとその意義について考えると思います。この国の国民の一人としてより良い生活を送る為に税金を納めていきたいです。